

令和4年度第2回 富良野市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和5年2月2日（木）午後1時30分～3時10分

場 所 富良野市複合庁舎1階 文化会館会議室C

出席者 〈委員〉

軽米達也、高橋穰二、中野義弘、寺島聡、増田義樹、鎌田勲、
尾崎汀子（7名）

〈欠席委員〉

関野孝子、吉田末子（2名）

〈事務局〉市民生活部長 山下俊明、環境課長 高橋秀文、
環境係長 山岡鶴生

1.開会（進行：高橋課長）

2.副市長挨拶

富良野市一般廃棄物処理基本計画は平成27年度から令和4年度までの8年計画で今年が最終年度になります。本市のごみ処理にかかる課題を整理しながら、循環型社会の構築、脱炭素の取り組み、再生可能エネルギーの活用を検討して令和5年度からスタートする新たな一般廃棄物処理基本計画を策定していく。昨年4月に施行されたプラスチックに係る資源循環促進等に関する法律の対応、現在焼却処理している紙おむつ等の衛生ごみの処理の関係、富丘最終処分場の関係と課題が山積している。

本市は一昨年4月にゼロカーボンシティーを表明している、長年にわたり市民のみなさんに協力いただいて、先進的なリサイクルに取り組んできた誇りが土台としてある。委員のみなさんには新たな基本計画の策定に向け忌憚のない意見を出していただきたい。（副市長退席）

3.軽米委員長挨拶

前回はコロナの影響で書面決議とした、今回が2回目となる。令和5年度より10ヶ年計画の最後の審議となる。みなさんの貴重な意見をまとめて基本計画の策定に役立てていきたい。

本日は、一般廃棄物処理基本計画と生活排水処理基本計画の2つについて審議していただく。（以降、軽米委員長が進行）

4.議事

1) 富良野市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）について 事務局より説明

（中野委員）計画書 15 ページ目に、「市で収集しないごみ」の品目に「家庭用パソコン」があるが、パソコンリサイクル法に基づきメーカーが回収リサイクルするものだが、中富良野町や芦別市では市町村が収集を行っている。富良野市でも今後収集は行わないのか。

（事務局）認定事業者との契約内容による部分もあるが、富良野市では当初よりパソコンの処理は排出者の責任において処理して頂くこととしており、パソコンによっては回収再資源化料金がかかる物と、かからない物があり、市で把握することは難しいため、今のところ市で回収する予定はないと考えている。

（寺島委員）ソーラーパネルの記載がない。ソーラーパネルを鹿よけ柵で設置している農家や一般家庭でもあり、今後のソーラーパネルの処理について考えを教えてください。

（事務局）今のところ粗大ごみとしての搬入はない。今後ソーラーパネルが搬入された場合、リサイクルが難しいようであれば処理困難物という扱いになることも十分考えられる。ソーラーパネルの処理については、電化製品の処理を依頼している民間事業者とも協議しながら検討していきたい。

（寺島委員）設置時の業者に依頼したくても、当時の業者が無くなってしまっていることもあり得るので、そういった場合も含めて検討して頂きたい。

（事務局）国の方でもリサイクルに向けて動いているという話もある。業者作業により発生するものは産業廃棄物となるため、市の施設への搬入は少ないと考えられるが、住民個人で取替作業された場合には一般廃棄物となってしまうので、情勢も見ながら処理について検討させて頂きたい。

（高橋委員）パネルの話については、ゼロカーボンシティを表明していることもあり、そちらの計画にも検討される内容かと思うが、見解について教えてください。

（事務局）市での取扱いが決まれば、脱炭素の計画でも情報提供できると考えている。

(高橋委員) 新プラ法に則って動いていくとすればごみ分別区分が変わってくると考えている。今回 10 年の計画期間だが、直近で見直しが必要になってくると考えられるが、見解について教えてほしい。

(事務局) 新プラ法は容器包装以外のプラスチックが対象となり、富良野市でいうと、固形燃料ごみに入れているプラスチックが対象となる。廃棄物処理施設整備の際には新プラ法に基づく処理を行うことが規定として明記されており、富良野市においては最終処分場の更新となる令和 10 年頃が新プラ法に対応しなければならない時期と考えている。おそらく令和 10 年前後にプラスチックごみの分別収集が変わる可能性があり、計画の見直しも同様のタイミングと考えている。

(高橋委員) 次回の見直しのタイミングでも良いかもしれないが、計画書の中のプラスチック表記に関して文言整理を行った方がわかりやすいと考える。

(増田委員) 近年、動物の発生が多くなっている。観光客が道路に置いていったごみ袋を動物が漁り、ごみが散らばっている状況が多く見受けられる。計画書内でポイ捨て禁止等の看板を設置と謳っているが、国道沿いにはあまり設置されていないと思うので、配慮してほしい。コロナ禍では、そういったごみを集めるのも難しく、観光客が捨てていったごみの集め方やどこに持っていけばいいのか。

(事務局) 道路であれば開発局や土地所有者に片付けをお願いしている現状である。不法投棄が把握できる箇所については看板やのぼりを設置しているが、全てを把握するのは困難であり、特に酷い場所等あれば、関係機関と調整して看板の設置等の対応はできるので、情報提供して頂きたい。

(増田委員) 外国人観光客はごみを捨てられる場所やルールがわからないといったこともあると思う。観光客向けのパンフレットにごみの捨て方等やルールを載せるべきだと思う。宿泊施設やレンタカーの店舗やコンビニに案内やポスターを貼るといったこともできると思う。

(事務局) 観光客の対策は特に難しいところであり、観光部署とも連携をして動画を作成し PR する、ホームページに掲載するといった対策は行っているところである。また、環境課ではないが、交通やごみのルール関係について啓発する英語版のパンフレットを作成し、5~6 年前頃からレンタカー会社や宿泊施設に配布し、外国人観光客に渡してもらえるようお願いしているところであるが、通過していく観光客には配布するタイミングが無く、難しい状況ではあ

る。

(軽米委員長) 計画書内の事業者・行政の取組みの1つに盛り込んでいただければと思う。

(鎌田委員) 固形燃料ごみについて、適正に排出されていないことが多い印象だった。町内会では、ごみ袋にマジックで番地を書き、自分が排出したごみが適正に収集されたかどうかわかるような対策を推進している。以前にも、自分が出したごみが適正だったか確認できるように、ごみ袋の印刷部分を中抜きにしてマジックで書ける欄を作ってはどうかと意見を出している。適正な分別に繋がる対策かと思うので、一つの意見として聞いて頂ければと思う。

(事務局) 名前記入欄を作ると印刷費用はかかってしまうので、何も印字されていない指定袋の裏面を活用するといった方法はあると考えている。印刷面に名前記入欄を設けるのは難しいと考えている。

(鎌田委員) 家庭ごとにシール番号を貼って排出するといった方法もあると思うが。

(事務局) そういった表記をしたうえで排出するよう実施されている町内会もあると聞いている。

(高橋委員) 人口の減少率とごみの減少率の相関について見解があれば教えて頂きたい。

(事務局) 確認できるデータを持っていない。

(高橋委員) 令和2年度のごみ排出量の実績について、事業系ごみの減少についてはコロナの影響かと思うが、家庭系ごみの増加の要因については何か検討はされているか。

(事務局) 家庭系ごみについてもコロナの影響と考えている。出かける機会も少なくなり、在宅時間が増えたことによるごみの増加と、特に粗大ごみは顕著で、断捨離される方が多かったのか、粗大ごみの排出増加が多くみられる状況だった。

(高橋委員) ごみ排出量の見込みについて、過去5年間の平均値との記載があるが、コロナの影響を考慮して予測されているのか確認させて頂きたい。

(事務局) コロナの影響を考慮して設定をさせて頂いている。

(高橋委員) 以前の計画には、昭和60年頃からのごみ排出量の実績の一覧表があったが、今回の計画書には記載がない理由は何かあるのか。

(事務局) 毎年のリサイクル事業概要には記載しているので、今、計画書には記

載しない。

2) 富良野市生活排水処理基本計画（素案）について 事務局より説明

(寺島委員) 単独槽に配管をたして合併浄化槽にはならないか。

(高橋委員) 単独浄化槽とは、し尿のみを処理するもので、合併浄化槽はし尿と生活排水を処理するものになっている。家の広さによって浄化槽の規格が決まっている。一番大きな単独浄化槽でも 1,800ℓ、同じ家の広さで合併浄化槽になると 4,000ℓ を超えるものになる。配水管をつなげれば良いということではない。

(寺島委員) 設置しなおさなければならないのか。

(高橋委員) そうです。国、道、富良野でも若干の補助金はあるが、現在、水洗を使用して不自由がなければ、高額な金額を出してまで合併浄化槽へ変える人は少ないのではと推測します。

(寺島委員)

単独浄化槽を合併浄化槽へ切り替えたくてもそう簡単な問題ではないという事になりますね。

(高橋委員) 処理主体は設置者となっている。富良野市として生活排水を何とか切り替えていきたいという事であれば、富良野市が設置者となり下水道のように使用料を取るようにすれば、みなさんは切り替えてくれるのではないと思う。

(寺島委員) 昔は、合併浄化槽にするのに補助金があったが今はそれだけでは無いですね。

(軽米委員長) リフォーム工事の一環としてなら 20 万円出るが、合併浄化槽への補助は無い。

(寺島委員) 新設の家ならわかるが、今から取り替えようとする人はいないと思う。古い家を維持していくのはお年寄りです。今更と思う。これを推進していくには富良野市の努力が見えないと思う。この事について検討をお願いということで。

(事務局) 状況を見ながら判断していくという形になる。ご意見として、頂戴し

ます。

(高橋委員) 生活排水処理人口、生活排水処理率には単独浄化槽は入っていないということで良いか。

(事務局) 入っていません。

(高橋委員) 雑排水は垂れ流しのため生活排水には当たらないということで理解してよいか。

(事務局) はい。

(高橋委員)

資料としてある、環境衛生センターには放流水の分析値が載っているので、富良野と山部の水処理センターの数値も入れたらよいのでは。

(事務局) 担当部署に確認して載せたいと思います。

(軽米委員長) パブリックコメントに向けて策定の方よろしくお願いします。

5.その他

事務局より説明

(軽米委員長) このメンバーでの審議会は大きなことが無ければこれで最後になります。令和5年度は新しいメンバーで審議会が進められると思います。

2年間ご協力いただき有難うございました。